

No. 34

あさくち

議会だより

平成29年
6月定例会

平成29年7月1日発行

- 6月定例会
本庁・支所のあり方、検討へ 補正予算 ②
主な議案 ③
- 委員会レポート ④
- 市政を問う！一般質問 ⑤

6月定例会は、5月30日に招集され、6月15日までの17日間の会期で行われました。

6月定例会

本庁・支所のあり方、検討へ 業務改革プロジェクト事業を予算化



金光総合支所



寄島総合支所



浅口市役所（本庁）

補正予算

○一般会計 補正額2,079万円 補正後総額137億6,579万円(対前年同期比△8.4%)

歳出の主なもの

事業名	事業の概要	補正額
業務改革プロジェクト事業	本庁・支所（分室）のあり方について検討し、組織体制の再編等の方向性を示す基本計画を策定	499万円
原付オリジナルナンバープレート作成事業	「天文のまちあさくち」をPRするため、50ccにおいて作成している原付オリジナルナンバープレートを、90cc、125ccにも拡充し作成	27万円
有害鳥獣駆除事業	急増する有害鳥獣による農業被害の防止と市民の安全確保のため、有害鳥獣駆除強化月間を設け集中的なパトロールを実施	69万円
学校現場における業務改善加速事業	県からの委託事業として学校現場の業務改善を図るため、鴨方東小学校をモデル校とし、研修会等の実施のほか、効率的な授業準備の助言等を行う授業準備サポーターを教育委員会に配置	199万円

○特別会計

会計名	主な内容	補正額
国民健康保険	前期高齢者納付金の増	126万円
介護保険	給付費の増など	1,436万円

※1万円未満を切り捨てて表記しています。

主な議案

条例

○職員の子育休休業等に関する条例の一部改正 **【原案可決】**

児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部を改正するもの。

○ひとり親家庭等医療費給付条例の一部改正 **【原案可決】**

母子及び父子並びに寡婦福祉法施行令の改正により、条例の一部を改正するもの。

契約

○工事請負契約の締結

【原案可決】

中央公民館耐震改修等工事について、2億2438万円で契約を締結するもの。

専決処分

○税条例の一部改正

【承認】

固定資産税に関する特例の割合を定める規定の整備、軽自動車税におけるグリーン化特例の延長等に伴い、条例の一部を改正するもの。

○国民健康保険税条例の一部改正

【承認】



耐震改修工事が始まる中央公民館

所得の少ない被保険者に対して課する保険税の減額措置に係る軽減判定所得の算定方法の変更に伴い、条例の一部を改正するもの。

○和解及び損害賠償額の決定(2件) **【承認】**

公用車の事故について、相手方と和解し損害賠償額を決定したものの。

○和解

【承認】

公用車の事故について、相手方と和解したものの。

議案に対する賛否

本定例会で審議した議案に対する各議員の賛否は次のとおりです。

「○」賛成、「×」賛成でない、「-」不参加、「欠」欠席

議案名	議員名	浅政会					経世懇話会					政和会		無会派			議決結果	
		中西美治 (議長)	平田襄二	大西洋平	田口桂一郎	柚木毅	伊澤誠	竹本幸久	大西恒夫	青木光朗	加藤淳二	福田玄	井上邦男	藤澤健	香取良勝	桑野和夫		岡邊正継
承認第2号 専決処分した事件の承認(税条例の一部改正)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	承認
承認第3号 専決処分した事件の承認(国民健康保険税条例の一部改正)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	承認
承認第4号 専決処分した事件の承認(和解及び損害賠償額の決定)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	承認
承認第5号 専決処分した事件の承認(和解及び損害賠償額の決定)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	承認
承認第6号 専決処分した事件の承認(和解)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	承認
議案第38号 職員の子育休休業等に関する条例の一部改正	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第39号 ひとり親家庭等医療費給付条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第40号 工事請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第41号 平成29年度一般会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第42号 平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第43号 平成29年度介護保険特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※議長は採決に加わりません。

委員会レポート

総務文教常任委員会

六条院小学校

児童クラブ(増築)が完成

―六条院こども園・六条院小学校児童クラブを視察―

○5月10日

六条院こども園と六条院小学校児童クラブを視察しました。

4月から開園した六条院こども園では、教育・保育の事業概要を、増築により小学校6年生まで利用可能となった六条院小学校児童クラブでは、学童保育の現状と取り組みについて、それぞれ担当職員から説明を

受けました。

このたびの児童クラブの増築で、

新たに45名の児童の利用が可能となったことから、待機児童の解消及び対象学年の拡大が図られたとのことでした。



六条院小学校児童クラブ

産業建設常任委員会

金光駅南口の工事始まる

―国道2号バイパス・金光駅南口工事、金光浄化センターを視察―

○5月11日

国道2号バイパスと金光駅周辺整備事業駅南口の工事現場並びに金光浄化センターを視察しました。

国道2号バイパスの鴨方町六条院西の工事現場及び金光浄化センターでは、それぞれ国や市の担当職員から工事の進捗や施設の概要について説明を受けました。

金光駅南口の工事は、すでに桜の

伐採が完了しており、担当職員から今後の整備見通しなどについて説明を受けました。今年度は、JR施設の撤去・移転工事や地盤改良工事などを行う予定とのことでした。



金光駅南口工事現場

民生常任委員会

ケアリゾート金光が4月開設

―ケアリゾート金光・ワーク菩提樹を視察―

○5月9日

4月に開設した介護老人保健施設ケアリゾート金光と金光町大谷のワーク菩提樹を視察し、それぞれ担当職員から施設の運営状況について説明を受けました。

介護老人保健施設ケアリゾート金光は、個室8室、2人室1室、4人室10室の入所定員50名の従来型施設で、通所リハビリテーションも定員

30名で運営しているとのことでした。

また、ワーク菩提樹は、地域活動支援センターⅢ型事業施設で、利用定員18名。正職員2名と非常勤職員2名で運営しているとのことでした。



ケアリゾート金光

都市計画調査特別委員会

平成32年4月の都市計画区域再編を目指す

○6月12日

現在、平成32年4月の都市計画区域再編を目標として作業を進めている。

区域再編には、都市計画マスタープランの改定と、再編後の土地利用規制の素案となるまちづくりプランの策定が必要であり、マスタープランは今年9月末の改定を、また、まちづくりプランは今年11月末の策定

を目指している。

その後、これらマスタープラン等を基に関係機関との調整を行い、平成30年3月までに岡山県に対して里庄町長、浅口市長の連名で都市計画区域再編の申し出を行いたい。

今年5月には、市長が里庄町長に必要な調査・検討に対する協力と連携について依頼し、了解を得たとの説明がありました。

一般質問 市政を問う!

6月定例会では、7人の議員が一般質問で市政を質しました。

質問者	質問項目	ページ
香取 良勝	○使用料の公平な負担を ○全国学力テスト結果は ○いじめの現状とその対策は ○市職員のモラルの現状は	6
佐藤 正人	○地球温暖化対策への取り組みは ○韓国の原発事故への危機管理は	6
柚木 毅	○安全安心なまちづくりを ○観光客の誘致を	7
桑野 和夫	○国保税を下げる努力を ○介護保険制度の現状は ○金光駅周辺整備事業の今後は	7
大西 恒夫	○国立天文台は今後どうなる ○定月池（さだつきいけ）跡地の利用方法は ○ごみの減量化の取り組みを	8
福田 玄	○食物アレルギーの子どもへの対応は ○ヘルプマークの更なる普及を ○プログラミング教育への対応は	8
伊澤 誠	○エネルギー対策のため、次世代自動車の充電インフラ整備を ○水素エネルギー社会への対応は	9



香取 良勝

質問項目

- 使用料の公平な負担を
- 全国学力テスト結果は
- いじめの現状とその対策は
- 市職員のモラルの現状は

使用料の公平な負担を

問 健康福祉センターのトレーニングルーム、浴場の使用料が他市町村に比べ安いと思うが、1000万円の赤字は誰が払うのか。

答 平成29年3月定例会で料金改定の条例改正が可決された。料金改定にあたっては、運営費及び維持管理費に対する健康福祉増進施策としての受益者負担割合を考慮し設定した。

問 老人憩いの間のカラオケやクラーの使用料をなぜ取らないのか。いつも同じ人が利用しているが、公平に負担すべき。

答 皆さんがおしゃべりやカラオケを楽しむことは、認知症や介護予防の観点からも効果的であるため、現状のままにしたい。

全国学力テスト結果は

問 市の結果と学校の対応は。

知事は、岡山県を全国で10番以内にすると言っていたができ

ていない。

答 小学校では正答率が全国平均を上回っているが、中学校では昨年度、国語・数学ともに差が開いたので、課題解決の取り組みを強化している。県の順位は、小学校が25位で、中学校が41位である。

いじめの現状とその対策は

問 いじめが市内で起こらないとは限らない。教育委員は、子どもを守るために何をしているのか。

答 定例的な会議は、月1回開催している。どの学校でも起こり得ると考え、いじめ防止の活動と早期発見に努めたい。

いじめが起ったときは、早急に対策を行うよう教育委員会でも話し合っている。教育委員も教員も熱心に取り組んでいる。



佐藤 正人

質問項目

- 地球温暖化対策への取り組みは
- 韓国の原発事故への危機管理は

地球温暖化対策への取り組みは

問 温暖化対策の認識、取り組みはどういうものがあるか。

答 温暖化は、世界で早急に解決すべき問題として議論されているが、食い止められていない。市では温室効果ガスである二酸化炭素の排出量抑制のため、

公共施設への太陽光発電設備の設置や住宅用太陽光発電設置費用の補助等の様々な取り組みを行っている。

問 平成27年4月にフロン排出抑制法が施行されたが、公共施設のフロン類機器管理の実態はどうか。

答 各施設にある該当機器に対し、日常的な簡易点検は3カ月に1回以上、一定規模以上の機器は専門業者による定期点検をそれぞれ定められた基準で行っている。今年度は、エアコン等機器のフロン点検業務を委託し、法で定められた措置を行う。

問 国や県との連携を踏まえた今後の市の取り組みは。

答 フロン排出抑制法は市の直接事務ではないが、市ホームページやリーフレットによる周知など、協力・支援できることを行いたい。

韓国の原発事故への危機管理は

問 韓国釜山市の古里原発3号機の事故発生時の被害想定で、四国地方は大規模な汚染が発生するとの報道があった。事故を想定した本市の対策は。

答 現在、この報道に関して国・県からの情報提供等はないが、今後の情勢に注意したい。このような事故が発生したら、国・県と緊密な連携で対応する必要がある。



袖木 毅

質問項目

- 安全安心なまちづくりを
- 観光客の誘致を

安全安心なまちづくりを

問 業務継続計画の策定などの現状は。被災市町村長がまとめた「災害時にトップがなすべきこと」の提言内容をどう受け止めているか。

答 ICT部門における業務継続計画や下水道事業業務継続計画は策定しているが、全庁的な計画は策定できていない。昨年に続き準備を進めている。

災害発生時には、提言を教訓に覚悟をもって対応していく。

問 雨期及び台風シーズンを迎えるにあたり、河川、ため池、急傾斜地などの安全点検や対策本部の運営手順などの準備はできているか。現状と課題は。

答 河川は、溝掘り清掃で異常等があれば土木委員を通じて報告いただき、確認、対応している。

ため池は、草刈り作業などで堤防の状況等の変化や異常があれば連絡いただき、確認、対応している。

急傾斜地は、職員が市内を巡回し、危険箇所等の有無を点検し、県と連携を図り意識啓発に努めている。

運営手順は、地域防災計画や職員初動マニュアルなどに基つき進めていく。防災タイムラインも導入準備を進めている。

観光客の誘致を

問 本市の活性化のために隣接自治体と連携して観光客を積極的に誘致してはどうか。

答 今年度は、岡山天文博物館などの公共施設にWiFi環境を整備し、高梁川流域圏内を周遊する観光客の利便性向上を図る。

限られた予算や人員で、効果的で魅力ある観光PRを行うには、近隣自治体との広域連携は不可欠であり、今後も積極的に取り組む。



桑野 和夫

質問項目

- 国保税を下げる努力を
- 介護保険制度の現状は
- 金光駅周辺整備事業の今後は

国保税を下げる努力を

問 都道府県単位化により国保がどう変わるのか。現時点での県と市の準備状況は。

答 県が保険者に加わり、国保財政の中心的な役割を担う。市は今までもおりの業務を行い、市民への行政サービス内容はほとんど変わらない。

昨年度から県、国保連合会と運営方針等連携会議を立ち上げ、国保財政や運営方針等の協議を重ねている。

問 国保税を下げるため、法定外繰入の実施を。

答 一般会計の財政運営が厳しさを増すことが予想される。国保会計への財政支援は困難。基金や繰越金等で当面は現状維持で運営できると考える。

介護保険制度の現状は

問 介護保険制度が大きく変わり、「総合事業」もスタートした。サービスは低下していない

か。国は自助、共助を強調するが、公助も役割を果たすべきと思うが見解は。

答 今まで要支援の認定を受けた人が利用する訪問介護と通所介護が、予防給付サービスから市が行う事業に移行された。サービス内容が増え、自分に合ったサービスを選択できるようになった。

介護予防事業や住み慣れた地域で安心して生活できる地域づくりを推進する。

金光駅周辺整備事業の今後は

問 今後の工事計画は。

答 今年度の中頃に本格的な工事を着手となり、平成32年度末の完了を目指している。

問 駐輪場の対策は。周辺道路の整備計画は。

答 駅周辺に仮の駐輪場を設置する。

市道金光宮迫線の区区间を自転車歩行者専用道路とし、駅南付近の道路拡幅にも取り組む。



大西 恒夫

質問項目

- 国立天文台は今後どうなる
- 定月池跡地の利用方法は
- ごみの減量化の取り組みを

国立天文台は今後どうなる

問 国立天文台は今年12月末で運営形態が変わると聞いている。市にはどんな話があるのか。「天文のまち」として市は関与しないのか。

答 188センチ望遠鏡は今年12月末で公募の利用を終了するとの情報がある。正式な話は聞いていないが、天文台との協力関係を継続し、市としてできることがあれば適切に対応したい。

定月池跡地の利用方法は

問 埋立てた定月池はどう利用するのか。企業誘致の用地にしては。

答 埋立て時の地元との約束事で広場や駐車スペース、防火水槽を設置する。それ以外の土地は住宅地とし、定住促進に資する優れた住環境を形成するため、指名型プロポーザル方式により民間の活力を利用して開発したい。

定月池周辺は保育園や幼稚園、民家や住宅団地があるので、企業用地は別の場所確保したい。

ごみの減量化の取り組みを

問 ごみ処理に年間でいくらかかっているか。市民一人当たりは。今後、受益者負担でごみの減量化に取り組むべきでは。

答 平成28年度で約4億500万円かかり、ごみ袋販売の収入等2700万円を引いた費用を人口で割ると、一人当たり1万792円。受益者負担は収集運搬手数料として指定ごみ袋を有料化し、負担をお願いしている。

今後今ままでおりの負担をお願いしたい。ごみの分別をしてもらい、減量化に努めている。地域での資源回収の取り組みも減量化につながると考える。



福田 玄

質問項目

- 食物アレルギーの子どもへの対応は
- ヘルプマークの更なる普及を
- プログラミング教育への対応は

食物アレルギーの子どもへの対応は

問 給食センターのアレルギー対応の現状は。

答 毎年アンケートを取り、対応が必要な子どもには医師の管理指導表等をもとに、学校・給食センター・保護者が必要に応じて面談し、食物アレルギー対策委員会での対応を決定する。

問 除去食品の選定や見直しはどのようなのか。小麦アレルギーへの対応は。

答 給食センター設立時にアレルギー特定原材料7品目を参考に、子どもが持つアレルギーの多い食品を調べ、対策委員会で11品目を決定した。小麦は幼児期には多いが、学齢期になると比率が減ってくる。また、完全除去が難しいのに対応していない。

問 エピペンの講習を学童保育指導員まで広げては。

答 アレルギーフォーラムで講習があり、参加した指導員もいる。

今年も参加を促したい。

ヘルプマークの更なる普及を

問 ヘルプマーク・ヘルプカードの普及、啓発状況は。

答 今年1月に普及促進の説明会の開催のほか、障害者団体の会合での紹介などを行っている。市長会でマーク普及の提案があり、満場一致で採択し取り組みが進んでいる。

問 教育現場でも普及に努めているか。

答 昨年度3小学校で総合的な学習の時間にボランティアに説明してもらった。今後も継続して周知したい。

プログラミング教育への対応は

問 2020年に小学校で必修化されるが対応は。

答 県の研修会に教職員を派遣し、資質向上に努めている。社会の要請に応じた教育環境の整備に努めたい。



伊澤 誠

質問項目

- エネルギー対策のため、次世代自動車の充電インフラ整備を
- 水素エネルギー社会への対応は

エネルギー対策のため、次世代自動車の充電インフラ整備を

問 市役所に電気自動車は何台あるか。更なる導入予定は。

答 本庁に3台、教育委員会に1台の計4台。電気自動車の導入は使用目的等を総合的に勘案して検討していく。

問 「岡山県電気自動車充電器設置ビジョン」では、本市は本庁・支所から5キロ圏内に充電器を計7か所設置することになっている。今後の設置の予定は。

答 普及にはインフラ整備が重要だが、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車の県下普及率が0.2〜0.3%と低い水準で推移しており、充電設備の整備はもう少し状況を見守りたい。

問 車両購入や充電設備の設置に国や県の補助はあるか。その上限は。

答 充電設備は、地方公共団体や事業者に対し国から2分の1の補助金が受けられる。メーカー

や機能区分により異なるが、上限は150万円。県の補助はない。

事業者や個人が車両購入の場合、蓄電池の容量により異なるが、上限は60万円。個人の家庭への充電器設置の補助はない。

水素エネルギー社会への対応は

問 倉敷市が燃料電池自動車（FCV）用の水素ステーションを国の補助を受けて設置した。究極のエコカーと言われるFCVは高額。インフラが整えば普及すると考える。市は普及に向けてどう取り組むか。

答 燃料電池自動車は、車体やステーション設置費用が莫大である。現段階での導入は考えていない。非常に夢があるが、普及を見据えてからの課題と認識している。

傍聴へお越しください

傍聴は、議会活動にふれることのできる最も身近な方法です。どうぞお気軽に傍聴へお越しください。

なお、次回の9月定例会は、8月29日に開会予定です。

会議の日程は、8月下旬に議会運営委員会で決定され、ホームページで公表します。



第244回 岡山県市議会議長会総会

4月13日に浅口市健康福祉センターで岡山県市議会議長会総会が開催されました。

総会には、県下15市の正副議長が出席し、「公立学校施設整備に係る財源の充実について」「地域公共交通の維持と財源の確保について」「待機児童ゼロの実現について」の3件を中国市議会議長会へ提出する議案とすることに決定しました。



浅口工業団地A地区が完成！ 完成お披露目会



4月17日に浅口工業団地A地区の完成お披露目会が開催されました。

お披露目会には、中西議長をはじめ市議会議員も参加し、テープカットなどで完成を祝いました。

同地区には、化粧品などを製造する明星産商(株)がすでに立地を決めています。さらに市内には、エフピコ

コグラビア(株)や福留ハム(株)といった企業も立地を決めており、今後の雇用創出や定住促進が期待されます。



議員表彰

全国市議会議長会表彰

全国市議会議長会定期総会において、当市議会議員が表彰を受けました。

○議員特別表彰

(20年以上市議会議員の職にあるもの)

井上 邦男

※在職年数には合併前の町議会議員としての在職年数の半分が加算されます。

中国市議会議長会表彰

中国市議会議長会定期総会において、当市議会議員が表彰を受けました。

○正副議長普通表彰

(3年以上正副議長の職にあるもの)

中西 美治

香取 良勝

声の議会だより

目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、浅口はるか会のご協力により議会だよりを音読しています。

表紙写真

修繕工事が完了した寄島B&G海洋センタープールが6月にリニューアルオープン。

寄島小学校の児童がさっそく体育の授業で使用し、久しぶりの水の感触を楽しんでいました。



広報特別委員会

委員長 平田襄二

副委員長 伊澤 誠

委員 福田 玄

委員 桑野和夫

委員 大西恒夫

委員 佐藤正人

委員 中西美治

委員 大西洋平



議会だよりは再生紙を使用しています

